

読 響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

伊福部とラフマニノフ、
大地を轟かす雄大なサウンド!

Weigle

Conductor SEBASTIAN WEIGLE

常任指揮者 **セバスティアン・ヴァイグレ**

ウィーン国立歌劇場などで活躍するドイツを代表する名匠

IFUKUBE: 'Dance of the Seven Veils' from "Salome"
BRAHMS: Violin Concerto in D major, op. 77
RACHMANINOFF: Symphony No. 2 in E minor, op. 27

伊福部 昭: 舞踊曲「サロメ」から「7つのヴェールの踊り」

ブラームス: ヴァイオリン協奏曲 長調 作品77

ラフマニノフ: 交響曲第2番 小短調 作品27

Tetzlaff

Violin CHRISTIAN TETZLAFF

ヴァイオリン **クリスティアン・テツラフ**

ウィーン・フィルなどと共演する現代最高峰のヴァイオリニスト

ブラームスの奥深い芸術性を追求!

YNSO Subscription Concert No. 642
Wednesday, 9 October 2024, 19:00 Suntory Hall

読売日本交響楽団 第642回 定期演奏会

2024 10.9 (水) 19:00 サントリーホール

S ¥8,000 A ¥7,000 B ¥6,000 C ¥4,500

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会 協力: アフラック生命保険株式会社

©Giorgia Bertazzi

名匠ヴァイグレが 伊福部&ラフマニノフを振り、

現代最高峰の名手テツラフが ブラームスで共演!

常任指揮者

セバスティアン・ヴァイグレ

2019年4月から読響第10代常任指揮者を務めるドイツの名匠。ベルリン国立歌劇場管の首席ホルン奏者として活躍後、指揮者に転身。2003年に雑誌『オーパヴェルト』の「年間最優秀指揮者」に選ばれた。バルセロナのリセウ大劇場の音楽総監督を務めた後、08年から23年までフランクフルト歌劇場の音楽総監督として手腕を発揮し、高い評価を得た。パイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ベルリン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ベルリン放送響、ウィーン響などで活躍。今年4月には東京・春・音楽祭での「エレクトラ」を成功に導き、7月にはバイエルン国立歌劇場での「タンホイザー」で絶賛された。



©Giorgia Bertazzi

ヴァイオリン

クリスティアン・テツラフ

世界の第一線でエキサイティングな活動を続けている現代最高のヴァイオリニストの一人。古典派から現代作品まで幅広いレパートリーに精通し、革新的な室内楽プロジェクトやパッサのソロ作品の演奏で高い評価を得ている。チェリビダッケ、ハイティンク、マゼール、マズア、ドホナーニ、ラトル、サロネン、ナガノ、メツマツハー、ネルソンスら巨匠の指揮で、ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、ニューヨーク・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ロンドン響などと共演を続けている。録音も数多く、多くの賞を受賞している。2022年のブラームスとベルクの協奏曲の録音も絶賛された。室内楽でも活躍し、世界各地の著名ホールで演奏している。

10月の《定期演奏会》は、“芸術の秋”に相応しい重量級のプログラムだ。読響の常任指揮者として6年目のシーズンを迎えた、ドイツの名匠セバスティアン・ヴァイグレが登場。伊福部昭、ブラームス、ラフマニノフを並べたプログラムを指揮する。ヴァイグレと読響は、同プログラムなどを携えて、10月中旬に9年振りとなる欧州ツアー(ドイツ5公演、イギリス3公演)へと旅立つ。国際的な真価が問われる欧州ツアーへ向け、力の込められた演奏が繰り広げられるだろう。

後半に演奏するのは、ラフマニノフの代表的な作品とされている交響曲第2番。ロシアの雄大な自然を思わせるようなスケールを持ち、胸に迫るロマンティックな旋律が印象的な作品だ。数々のロシア・オペラを振るなど、ロシア音楽にも絶対の自信を持っているヴァイグレは、読響から豊潤で力強いサウンドを引き出し、壮大な世界を描きだすだろう。

1曲目には、「ゴジラ」のテーマ曲などで知られている伊福部による舞踊音楽「サロメ」から“7つのヴェールの踊り”を演奏。北海道生まれでアイヌ文化にも触れた伊福部の音楽は、民俗的なメロディや土俗的なリズムを用いた作風が特徴だ。この作品でもエキゾチックで官能的な響きが奏でられ、日本の祭を思わせる血沸き肉躍るビートが打ち鳴らされ、会場を熱くさせるだろう。

2曲目には、長らく世界の檜舞台で活躍し、ウィーン・フィルやシカゴ響などと共演を続けている現代最高峰のヴァイオリンの名手クリスティアン・テツラフが登場。ドイツ音楽を中心としたレパートリーで世界の最先端を走るテツラフが、名曲中の名曲、ブラームスの傑作協奏曲を弾き、深い芸術性へ迫る。円熟期を迎えたテツラフと名匠ヴァイグレが、奥深いブラームスの音楽の神髄を聴かせるだろう。

読響日本交響楽団 第642回 定期演奏会

2024年 10月9日(水) 19時開演

サントリーホール

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥8,000 / A ¥7,000 / B ¥6,000 / C ~~¥5,000~~

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。 ■部会により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。 ■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyoku.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

読響ホームページ

<https://yomikyoku.or.jp/>